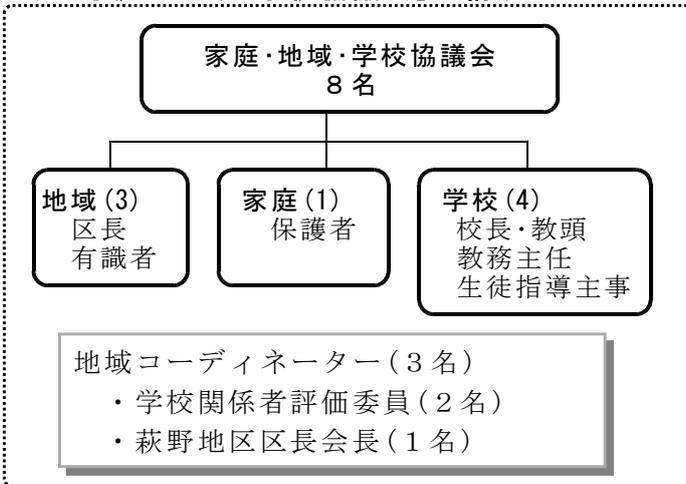


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の開催計画

- ※開催回数 4回
- ※開催日程及び協議内容
- 第1回 5月20日(月)
 - ・学校参観
 - ・スクールプラン説明
 - ・評価計画説明
- 第2回 8月8日(木)
 - ・中間自己評価報告
 - ・改善計画説明
- 第3回 1月15日(水)
 - ・学校参観
 - ・年間自己評価説明
- 第4回 1月27日(月)
 - ・学校関係者評価提言

(3) 協議会における成果と課題

- ・学校関係者評価委員や地域コーディネーターの助言を受け、地域の教材を生かしたり地域の方々との温かい交流を深めたりすることができた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の歴史や伝統芸能、伝統工芸に親しむことにより、地域に愛着をもち、ふるさとの歴史や文化を担い、伝えていこうとする児童を育成する。

(2) 活動の実際

① 「焼き物のさかんな織田地区」(5・6年)

越前焼きは日本六古窯の一つであり、越前町には福井県陶芸館をはじめ越前陶芸村など焼き物に関する施設がたくさんある。児童は社会科の学習を通して、越前焼には伝統的な「わづみ」という技法があることを知った。是非ともこの技法を体験してみたいと話し合い「わづみ館」の見学を決めた。



② 「目指せ、太鼓の達人」(6年)

織田地区は、古くから太鼓の盛んな地区である。本校では15年前から「太鼓クラブ」を立ち上げ、今でもその伝統は受け継がれている。4年生～6年生が太鼓を学び、丹生郡小中学校音楽会で成果を披露している。6年児童はこの活動を通して「もっと太鼓のことを学びたい」と思い、地元の太鼓練習館を訪問し、いろいろな太鼓を実際に打たせてもらった。また「OTAIKO座明神」に30年以上関わっている方の話を聞いた。



(3) 特地域コーディネーターの活動概要

地域学習の素材の提案や、伝統文化に詳しい方を紹介していただいた。

(4) 特に工夫した事項

見学や体験活動を通して、児童が実際に自分の目で見たり、触れたりすることを重視した。そして、その活動の中で出てきた新たな疑問やさらに追究したいことを明確にして、調べ学習を行った。

(5) 成果と課題

- ・地域に伝わる工芸や芸能に直接触れることで、自分の住んでいる地域により愛着と誇りをもつ児童が増えた。
- ・課題は学んだことの発信である。今は学校内や保護者の方への発信に留まっているが、今後は地域の方々への発信について検討していきたい。